

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：高橋） （2組：高橋） （3組：高橋） （4組：高橋） （5組：高橋） （6組：高橋）

使用教科書：（『高等学校 標準論理国語』（第一学習社））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深め、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
検証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		精	書	読					
1 学期	A 単元 新しい発見 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握する方法を学ぶ。 定期考査	・指導事項 毛利衛「新しい地球観」 オーサグラフ地図の特徴を捉え、筆者が述べる「新しい地球観」との関連について考察する。 ・教材 標準論理国語、新国語便覧	○	○	○	○	○	○	9
	B 単元 新しい発見 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 稲垣栄洋「進化が導き出した答え」 生物の進化における多様化について理解し、それを人間の生き方に照らして考えを深める。 ・教材 標準論理国語、新国語便覧	○	○	○	○	○	○	6
	C 単元 言葉と文化 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 定期考査	・指導事項 飯田朝子「数え方で磨く日本語」 具体例をもとに日本語のものの数え方の性質や文化的特徴を理解し、日本語感覚を磨く。 ・教材 標準論理国語、新国語便覧	○	○	○	○	○	○	6
2 学期	D 単元 言葉と文化 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 定期考査	・指導事項 高階秀爾「名所絵はがきの東西」 絵はがきを例に筆者が東西の自然観をどのように捉えているか把握し、自分の考えを深める。 ・教材 標準論理国語、新国語便覧	○	○	○	○	○	○	12
	E 単元 生活の中の表現 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。	・指導事項 俵万智「情けは人の……」 本文中に示された言葉の正しい意味を知るとともに、言葉に対する筆者の姿勢を読み取る。 ・教材 標準論理国語、新国語便覧	○	○	○	○	○	○	7
	F 単元 生活の中の表現 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 定期考査	・指導事項 阿刀田高「犬も歩けば棒に当たる」 一つのことわざについて複数の解釈を提示する文章を読んで、日本語の多様性について理解を深める。 ・教材 標準論理国語、新国語便覧	○	○	○	○	○	○	7

3 学 期	G 単元 人間と文化 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。	・指導事項 浜矩子「バラと通過はどう違う？」 本文中で通過と対比されているものの性質を把握し、筆者が述べる通過の本質を理解する。 ・教材 標準論理国語、新国語便覧	○	○	○	○	○	○	10
	H 単元 人間と文化 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 長谷川眞理子「ヒトはなぜヒトになったか」 因果関係を解き明かしていく論理構成の手順を把握し、ヒトの進化の過程を理解する。 ・教材 標準論理国語、新国語便覧	○	○	○	○	○	○	8
	定期考査		○	○	○	○	○	○	1
									合計
									70

高等学校 令和5年度 (2学年用) 教科 国語 科目 現代文演習AD

教科：国語 科目：現代文演習AD 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：(木56限組：山田) (組： ) (組： ) (組： ) (組： ) (組： )

使用教科書：(『プログレス 現代文 総演習』(いづな書店) 『30日完成 ことば』(日栄社) )

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深め、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代文演習AD の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
検証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話	書	読					
1 学 期	A 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。	・指導事項 演習 (基本的な漢字、慣用表現、表現、語彙) 問題演習 (読解) ・教材 プログレス現代文総演習 30日完成 ことば	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。 文脈を理解し、読解問題を解くことができるか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。	○	○	○	8
	B 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習 (基本的な漢字、慣用表現、表現、語彙) 問題演習 (読解) ・教材 プログレス現代文総演習 30日完成 ことば	○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	6
	C 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。	・指導事項 演習 (基本的な漢字、慣用表現、表現、語彙) 問題演習 (読解) ・教材 プログレス現代文総演習 30日完成 ことば	○	○	○		○	○	○	6
	定期考査					○	○			1
2 学 期	D 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習 (基本的な漢字、慣用表現、表現、語彙) 問題演習 (読解) ・教材 プログレス現代文総演習 30日完成 ことば	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。 文脈を理解し、読解問題を解くことができるか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。	○	○	○	12
	E 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。	・指導事項 演習 (基本的な漢字、慣用表現、表現、語彙) 問題演習 (読解) ・教材 プログレス現代文総演習 30日完成 ことば	○	○	○	【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	8
	F 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習 (基本的な漢字、慣用表現、表現、語彙) 問題演習 (読解) ・教材 プログレス現代文総演習 30日完成 ことば	○	○	○		○	○	○	7
	定期考査					○	○			1

3 学 期	G	<p>【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</p>	<p>・指導事項 演習（基本的な漢字、慣用表現、表現、語彙） 問題演習（読解）</p> <p>・教材 プログレス現代文総演習 30日完成 ことば</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。 文脈を理解し、読解問題を解くことができるか。</p> <p>【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。</p>	○	○	○	10
	H	<p>【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。</p>	<p>・指導事項 演習（基本的な漢字、慣用表現、表現、語彙） 問題演習（読解）</p> <p>・教材 プログレス現代文総演習 30日完成 ことば</p>	○	○	○	<p>【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。</p>	○	○	○	10
	定期考査							○	○		1
										合計	70

高等学校 令和5年度 (2学年用) 教科 国語 科目 現代文演習BA

教科：国語 科目：現代文演習BA 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：(木56限組：高橋) (組： ) (組： ) (組： ) (組： ) (組： )

使用教科書：(『国語必携ライトパーフェクト演習 三訂版』(第一学習社) )

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深め、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代文演習BA の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
検証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通じて、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 時 数
			話 聞	書	読					
1 学 期	A 単元 基礎編① 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する方法を学ぶ。	・指導事項 演習 (基本的な漢字、慣用表現、表現、語彙、日本文学史、現代用語) ・教材 国語必携ライトパーフェクト演習 三訂版	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていないか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。	○	○	○	8
	B 単元 基礎編① 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習 (基本的な漢字、慣用表現、表現、語彙、日本文学史、カタカナ語、国語常識) ・教材 国語必携ライトパーフェクト演習 三訂版	○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	6
	C 単元 基礎編② 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。	・指導事項 演習 (身につけておきたい漢字、慣用表現、表現、語彙、文章題、現代用語) ・教材 国語必携ライトパーフェクト演習 三訂版	○	○	○		○	○	○	6
	定期考査					○	○			1
2 学 期	D 単元 基礎編② 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習 (身につけておきたい漢字、慣用表現、表現、語彙、文章題、カタカナ語、国語常識) ・教材 国語必携ライトパーフェクト演習 三訂版	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていないか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	12
	E 単元 基礎編③ 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。	・指導事項 演習 (覚えておきたい漢字、慣用表現、表現、語彙、文章題、口語文法、敬語、現代用語) ・教材 国語必携ライトパーフェクト演習 三訂版	○	○	○		○	○	○	8
	F 単元 基礎編③ 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習 (覚えておきたい漢字、慣用表現、表現、語彙、文章題、口語文法、敬語、カタカナ語、国語常識) ・教材 国語必携ライトパーフェクト演習 三訂版	○	○	○		○	○	○	7
	定期考査					○	○			1

3 学 期	G 単元 対策編 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが ら要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。	・指導事項 演習、SPI、公務員試験 (二語の関係、複数の意味、語句の意味、四字熟語、整序問題、類義語、反対語、ことわざ、長文問題、文学史、漢字)  ・教材 国語必携ライトパーフェクト演習三訂版	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができてい るか。  【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。	○ ○ ○	10	
	H 単元 表現編 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習(原稿用紙の使い方、作文の練習、手紙の書き方、履歴書の書き方、面接試験対策)  ・教材 国語必携ライトパーフェクト演習三訂版	○ ○ ○	○ ○ ○	【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。  【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○ ○ ○	10	
	定期考査					○ ○ ○	1	
							合計	70

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典講読

教科：国語 科目：古典講読 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1組：山田）（2組：山田）（3組：山田）（4組：山田）（5組：山田）（6組：山田）

使用教科書：（『高等学校 標準古典探究』）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対し
- 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や共感したり想像したりする力を伸ばし、伝える力を高め、自分の思いや考えを広げたり
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ、言葉を通して他者や社会と関わり

科目 古典講読 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 時 数
			経 典	書	読					
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価する 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。	・指導事項 古本説話集「平中が事」 十訓抄「文字一つの返し」 古今著聞集「小式部内侍が大江山の歌の事」 ・教材 標準古典探究、古典文法書、国語便覧	○	○		【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。 珠動詞の意味と活用を理解し、判別できているか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深く読み取り、論考ができてきているか。	○	○	○	9
	定期考査					【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。	○	○		1
	B 単元 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価する 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 伊勢物語「初冠」「通ひ路の関守」 「小野の雪」 竹取物語「火鼠の皮衣」「かぐや姫の昇天」 ・教材 標準古典探究、古典文法書、国語便覧	○	○		【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	6
C 単元 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価する 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 竹取物語「火鼠の皮衣」「かぐや姫の昇天」 ・教材 標準古典探究、古典文法書、国語便覧	○	○	○		○	○	○	6	
	定期考査					○	○		1	
2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価する 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 徒然草「公世の二位のせうとに」 方丈記「安元の大火」 枕草子 ・教材 標準古典探究、古典文法書、国語便覧 ・指導事項	○	○		【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。 珠動詞の意味と活用を理解し、判別できているか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深く読み取り、論考ができてきているか。	○	○	○	12
	定期考査					○	○		1	
	A 単元 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価する 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 源氏物語 更級日記 ・教材 標準古典探究、古典文法書、国語便覧	○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	7
	A 単元 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価する 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 蜻蛉日記 祭式部日記 ・教材 標準古典探究、古典文法書、国語便覧	○	○			○	○	○	7
	定期考査					○	○		1	

3 学 期	A 単元 <b>【知識及び技能】</b> 語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価する <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>	・指導事項 故事成語 三国志  ・教材 標準古典探究、古典文法書、国語便覧	○	○	○	<b>【知識・技能】</b> 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。 珠動詞の意味と活用を理解し、判別できているか。  <b>【思考・判断・表現】</b> 学習課題についてより深く読み取り、論考ができているか。	○	○	○	10
	A 単元 <b>【知識及び技能】</b> 語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価する 定期考査	・指導事項 漢詩 項羽と劉邦 諸家の思想  ・教材 標準古典探究、古典文法書、国語便覧	○	○	○	<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。	○	○	○	8
						【方法】	○	○		1
										合計
										70





高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：( 1～6組：相本)

使用教科書：( 第一学習社 新公共 )

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】現代の社会的事象と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけさせる。

【思考力、判断力、表現力等】現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見出し、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察させ、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現させる。

【学びに向かう力、人間性等】現代の社会と人間に関わる事柄に対する関心を深め、意欲的に課題を追及するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけさせ、人間としての在り方生き方についての自覚を深めさせる。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめさせる。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論させる。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決する態度を育ませる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	公共の空間を作る私たちについて理解させ、話し合いを行い、考えさせる。	・おとなになるとはどういうことだろうか ・個人の尊厳と自主自律 ・多様性と共通性 ・伝統文化とのかかわり	【知識・技能】 ・青年期について理解している。 【思考・判断・表現】 ・青年期について考え、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークやワークシートに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	公共的な空間における基本原理について、民主政治と政治体制を通して理解し、考えさせる。	・個人の尊厳と平等・個人の尊重 ・民主主義と法の支配 ・自由・権利と責任・義務 ・日本国憲法に生きる基本原理	【知識・技能】 ・民主政治について理解している。 【思考・判断・表現】 ・民主政治について考え、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークやワークシートに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
2 学期	法や規範の意義や契約、司法の意義について理解し、考えさせる。	・法や規範の意義と役割 ・契約と消費者の権利・責任 ・司法参加の意義	【知識・技能】 ・法と司法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・法と司法について考え、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークやワークシートに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	政治参加について考え自分の意見を持たせる。雇用や労働問題について理解させる。自分の職業観について考えさせる。	・政治参加と公正な世論形成 ・雇用と労働問題 ・社会の変化と職業観	【知識・技能】 ・政治参加・雇用と労働問題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・政治参加・雇用と労働問題について考え、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークやワークシートに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	17
定期考査			○	○		1	
3 学期	経済の仕組みについて理解させ、現代社会の経済的課題について考えさせる。	・市場経済の機能と限界 ・金融のはたらき ・財政の役割と社会保障	【知識・技能】 ・市場の仕組みと財政について理解している。 【思考・判断・表現】 ・市場の仕組みと財政について考え、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークやワークシートに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

合計

75



高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史演習Ⅰ

教科：地理歴史 科目：世界史演習Ⅰ 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組（選択科目）

教科担当者：太田規之

使用教科書：（『世界史探究 詳説世界史』山川出版社）

教科 地理歴史

の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史演習Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
・人類の誕生を地球46億年の歴史のなかに位置づけて考察させる。 ・自然環境と人類の関わりの概要を理解させる。 ・人類の進化の過程の概要を理解させる。	自然環境と人類の進化	【知識・技能】 自然環境と人類の関わり、および人類の進化の過程の概要を理解している。 【思考・判断・表現】 長期にわたる地球気候の変化を示す統計資料や「地球カレンダー」などの資料をもとに、地球の自然環境が高直している危機およびその克服への取り組みを、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と人類の進化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	1
・自然環境の変化と農耕・牧畜の開始との関係について考察し、文明誕生の基礎について理解させる。 ・おもな古代文明の立地について考察し、文明が生まれるために必要だった条件を理解させる。	第1章 文明の成立と古代文明の特質 1 文明の誕生	【知識・技能】 都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 歴史や粘土板などの資料をもとに、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文明の誕生について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	1
・メソポタミア文明が今日に残した文化的遺産を理解させる。 ・エジプト王国が長期にわたって安定した支配を続けられた理由を理解させる。 ・シリア・パレスチナ地方で多くの民族が興亡を繰り返した背景を理解させる。 ・アッシリアがオリエントをはじめて統一することができた背景を理解させる。	第1章 文明の成立と古代文明の特質 2 古代オリエント文明とその周辺	【知識・技能】 オリエントの大半が乾燥地帯であること、そのなかで大河流域のメソポタミアとエジプトで灌漑農業をもとにいち早く文明化したことを理解している。 【思考・判断・表現】 『インクや粘土板や『目的意識』などの資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 オリエント文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
・アケメネス朝が広大な領域に中央集権的支配を築ことができた背景や要因を理解させる。 ・バルティアとササン朝の繁栄の背景や要因を理解させる。 ・バルティアとササン朝が東西の文明の間で担った役割を理解させる。	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 1 イラン諸国家の興亡とイラン文明	【知識・技能】 アケメネス朝、バルティア、ササン朝といったイラン諸国家がそれぞれのように興亡したのかを理解している。 【思考・判断・表現】 ササン朝と法隆寺の「獅子狩」図案などの資料をもとに、イラン文明が世界の諸文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イラン文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	1
定期考査			○	○		1
・クレタ文明とミケーネ文明を比較し、そのあいだの性格の違いを理解させる。	第1章 文明の成立と古代文明の特質 2 古代オリエント文明とその周辺	【知識・技能】 クレタ文明とミケーネ文明の性格の違いを理解している。 【思考・判断・表現】 クレタ文明とミケーネ文明の性格の違いを考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 クレタ文明とミケーネ文明について自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	1
・ポリスの特徴およびそこでの人々の生活について、オリエントの都市国家と比較したうえで理解させる。 ・民主政発達の経緯および現代の民主主義との相違点について理解させる。 ・ギリシア文明が近代ヨーロッパにもたらした影響を理解させる。	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 2 ギリシア人の都市国家	【知識・技能】 アテナにおいてどのような経緯で民主政が出現したのか、またギリシア文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 ポストラコンなどの考古学的資料や「ペリクレスの演説」などの資料をもとに、ギリシア人の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代ギリシアについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1
・ローマ共和政の特徴について、ギリシア民主政と比較したうえで理解させる。 ・「ローマの平和」が地中海世界に与えた影響を理解させる。 ・ローマ帝国が危機を迎えた要因を理解させる。 ・ローマ帝国の文化的意義を理解させる。	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 3 ローマと地中海支配	【知識・技能】 ローマがどのような経緯で都市国家から帝国にいたったのか、またローマ人の文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 モザイク画などの図像資料や「神皇正統記」などの資料をもとに、ローマが地中海世界を統一し、それを維持できた理由を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代ローマについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
・キリスト教の成立の経緯を理解させる。 ・ローマ帝国によるキリスト教への対応を理解させる。	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 4 キリスト教の成立と発展	【知識・技能】 勢力を拡大させていたキリスト教をローマ帝国がどのように利用しようとしたのかを理解している。 【思考・判断・表現】 当時の地中海世界の状況をふまえて、キリスト教が急速に広がった理由を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 キリスト教の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	2
定期考査			○	○		1

3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南アジアの多様性を生み出した地理的環境について理解させる。</li> <li>・南アジア最古の文明であるインダス文明が栄えた場所の特徴を理解させる。</li> <li>・アーリヤ人の進入が南アジアにもたらした変化について理解させる。</li> </ul>	第1章 文明の成立と古代文明の特質  3 南アジアの古代文明	<p>【知識・技能】 南アジアが非常に大きく二分されること、それぞれの風土に適合した生活が古くから営まれていたことを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 グプタ王朝やシャーン朝の成立をもとに、アーリヤ人社会に置かれた階級差が生まれていった背景や原因を考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 南アジアの古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仏教やジャイナ教などの新たな宗教に共通する点について理解させる。</li> <li>・南アジア最初の統一王朝であるマウリヤ朝のもとでの仏教の発展について理解させる。</li> <li>・クシャーナ朝と周辺諸地域との関係を理解させる。</li> </ul>	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開  1 仏教の成立と南アジアの統一国家	<p>【知識・技能】 南アジアに生まれたさまざまな宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 インド諸教(地獄)や『エリトワール海案内記』などの資料をもとに、インド諸教の広がりを多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 南アジアで生まれた諸宗教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グプタ朝における宗教や文化の展開を理解させる。</li> <li>・8～10世紀の諸勢力が割拠した時代における各地の政権の政策を理解させる。</li> <li>・ヒンドゥー教が南アジアの社会に根づいていった背景を理解させる。</li> </ul>	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開  2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着	<p>【知識・技能】 インドの黄金期とされるグプタ朝において、文化がどのように展開したのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 それまで仏教やジャイナ教が盛んだったことをふまえたうえで、ヒンドゥー教が社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 インド古典文化とヒンドゥー教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東南アジアの風土について他のアジアや日本と比較したうえで理解させる。</li> <li>・東南アジアと南アジア・中国との関係を理解させる。</li> <li>・東南アジアにおける国家形成の特徴を理解させる。</li> </ul>	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開  3 東南アジア世界の形成と展開	<p>【知識・技能】 東南アジアの大陸部と諸島部において、どのように国家が形成されたのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 東南アジアの風土や地形をふまえたうえで、南アジアや中国との関係およびその変遷を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 東南アジアの諸国家について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・殷と周の支配形態を比較し、共通点と相違点を理解させる。</li> <li>・春秋時代と戦国時代を比較し、とくにそれぞれの秩序について違いを見出させる。</li> <li>・戦国時代の社会において、鉄器の普及がおよぼした影響を理解させる。</li> </ul>	第1章 文明の成立と古代文明の特質  4 中国の古代文明	<p>【知識・技能】 東アジア各地の風土が、それぞれの地で多様な農業とそれに基づく先史文化を生み出したこと、各地で人々の移動や交流がおこなわれたことを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 青銅器や甲骨文字など考古学的資料や『春秋左伝』などの資料をもとに、当時の政治や支配のあり方を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 中国の古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・騎馬遊牧民が強大な国家を築くことができた理由を理解させる。</li> <li>・遊牧国家の興亡がユーラシア大陸の東西にもたらした変動を理解させる。</li> <li>・オアシス民と遊牧民の関係を理解させる。</li> </ul>	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界  1 中央ユーラシアー草原とオアシスの世界	<p>【知識・技能】 中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活のありさまや、彼らの周辺部の諸勢力との関係を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 風土を示す写真や『史記』匈奴列伝などの資料をもとに、中央ユーラシアの人々の動向が、世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 中央ユーラシアの動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに現れた「皇帝」の特質について、それまでの「王」と比較しながら理解させる。</li> <li>・漢の支配体制の変遷を理解させる。</li> <li>・統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を理解させる。</li> </ul>	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界  2 秦・漢帝国	<p>【知識・技能】 秦・漢といった統一国家の支配体制について、それまでの春秋・戦国時代と比較したうえで理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 兵部儀や青銅貨幣など考古学的資料や『漢書』などの資料をもとに、秦・漢の時代に生じた地域間の結びつきの変化や、統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 秦・漢帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊牧民族の動きと魏晉南北朝の動乱との関係について理解させる。</li> <li>・魏晉南北朝時代に仏教や道教が力を持つようになった要因や背景を理解させる。</li> <li>・魏晉南北朝時代の中国の情勢が、朝鮮や日本に与えた影響について理解させる。</li> </ul>	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界  3 中国の動乱と変容	<p>【知識・技能】 魏晉南北朝の動向がどのように展開したのかについて、遊牧民族との関わりもふまえたうえで理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 『女史箴図』などの図像資料や『顔氏家訓』などの資料をもとに、魏晉南北朝時代の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 魏晉南北朝の動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・唐の勢力圏の広がりを理解させる。</li> <li>・唐の制度や文化が近隣諸国に与えた影響について理解させる。</li> <li>・安史の乱前後の唐の制度や社会の変化を理解させる。</li> <li>・突厥・ウイグルと隋・唐の関係を理解させる。</li> <li>・ソグド人の中央ユーラシアや東アジアにおける役割について理解させる。</li> </ul>	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界  4 東アジア文化圏の形成	<p>【知識・技能】 隋・唐の社会や制度、支配体制について、それまでの時代や地域との違いや、時勢ごとの変化をふまえたうえで理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 壁画などの図像資料や『旧唐書』輿服志などの資料をもとに、隋・唐の社会の特徴や近隣諸国への影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 東アジア文化圏の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アラブ＝ムスリム軍による大征服の展開を理解させる。</li> <li>・ウマイヤ朝の領域的な広がりとその支配の特徴を理解させる。</li> <li>・アッバース朝成立の背景とその統治の特徴を理解させる。</li> <li>・イスラーム政権の多極化が社会に与えた影響を理解させる。</li> </ul>	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成  1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立	<p>【知識・技能】 イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 イスラーム政権の拡大を示す地図やアラバクなどの図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が東アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 イスラーム教の成立と拡大について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4	
定期考査			○	○		1	
						合計	
						55	

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 地理歴史 科目 日本史演習 I

教科: 地理歴史 科目: 日本史演習 I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 6 組 (選択科目)

教科担当者: ( 1 ~ 6 組: 山田淳 )

使用教科書: ( 『日本史探究 詳説 日本史』(山川出版社) )

教科 地理歴史 の目標:  
**【知識及び技能】** 現代世界の地域的特色と日本の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。  
**【思考力、判断力、表現力等】** 歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。  
**【学びに向かう力、人間性等】** 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、説明する力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本人としての自覚、他国やその文化への尊重について自覚させる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・鉄砲とキリスト教伝来の経緯と意義について考察させる。 ・織田政権成立の経緯を考察させる。 ・豊臣政権の成立過程と政策を考察させる。	第8章 近世の幕開け 1 織豊政権	【知識・技能】 織豊政権の成立について理解できたか。 【思考・判断・表現】 織豊政権成立の背景と課題を理解できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 織豊政権成立について、興味・関心・疑問をもって学習できたか。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	・桃山文化の内容と特徴を考察させる。	第8章 近世の幕開け 2 桃山文化	【知識・技能】 桃山文化の特徴を理解できたか。 【思考・判断・表現】 桃山文化がもたらした影響を考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 桃山文化について、興味・関心・疑問をもって学習できたか。	○	○	○	4
	・江戸幕府成立の過程を考察させる。 ・幕藩体制成立の過程と内容を考察させる。 ・江戸幕府の機構を考察させる。 ・江戸幕府の宗教政策について考察させる。 ・江戸幕府の外交政策を考察させる。 寛永期の文化について考察させる。	第9章 幕藩体制の成立と展開 1 幕藩体制の成立	【知識・技能】 幕藩体制成立の特徴と経緯について学習することができたか。 【思考・判断・表現】 幕藩体制成立の背景と影響を学習することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 幕藩体制成立について興味・関心・疑問をもって学習できたか。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	
2 学 期	・江戸時代の社会構成を考察させる。 ・江戸自体の農村の様子を考察させる。 ・江戸時代の町の様子を考察させる。 ・江戸自体の産業構造を考察させる。	第9章 幕藩体制の成立と展開 2 幕藩社会の構造	【知識・技能】 幕藩社会の特徴について学習することができたか。 【思考・判断・表現】 幕藩社会の背景を学習することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 幕藩社会について興味・関心・疑問をもって学習できたか。	○	○	○	6
	・徳川家綱期の政治を考察させる。 ・元禄期の政治を考察させる。 ・正徳の治について考察させる。	第9章 幕藩体制の成立と展開 3 幕政の安定	【知識・技能】 幕政の安定について学習することができたか。 【思考・判断・表現】 幕政安定の背景と影響を学習することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 幕政安定について興味・関心・疑問をもって学習できたか。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	・江戸時代の農業について考察させる。 ・江戸時代の交通について考察させる。 ・江戸時代の経済について考察させる。	第9章 幕藩体制の成立と展開 4 経済の発展	【知識・技能】 江戸時代初期経済の特徴と経緯について学習することができたか。 【思考・判断・表現】 江戸時代初期経済の背景と影響を学習することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 江戸時代初期経済について興味・関心・疑問をもって学習できたか。	○	○	○	4
	・元禄文学の特徴を考察させる。 ・元禄期の学問について考察させる。 ・元禄美術について考察させる。	第9章 幕藩体制の成立と展開 5 元禄文化	【知識・技能】 元禄文化の特徴と経緯について学習することができたか。 【思考・判断・表現】 元禄文化の背景と影響を学習することができたか。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・享保の改革について考察させる。</li> <li>・江戸時代中期の社会について考察させる。</li> <li>・田沼政治について考察させる。</li> </ul>	第10章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革	【知識・技能】 幕政改革の特徴と経緯について学習することができたか。 【思考・判断・表現】 幕政改革の背景と影響を学習することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 幕政改革について興味・関心・疑問をもって学習できたか。	○	○	○	3
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宝暦・天明期の学問・思想について考察させる。</li> <li>・宝暦・天明期の芸術について考察させる。</li> </ul>	第10章 幕藩体制の動揺 2 宝暦・天明期の文化	【知識・技能】 宝暦・天明期文化の特徴と経緯について学習することができたか。 【思考・判断・表現】 宝暦・天明期文化の背景と影響を学習することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 宝暦・天明期文化について興味・関心・疑問をもって学習できたか。	○	○	○	1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寛政の改革について考察させる。</li> <li>・18C末の外交政策について考察できたか。</li> <li>・大塩の乱について考察させる。</li> <li>・天保の改革について考察させる。</li> </ul>	第10章 幕藩体制の動揺 3 幕府の衰退と近代への道	【知識・技能】 江戸時代後期政治の特徴と経緯について学習することができたか。 【思考・判断・表現】 江戸時代後期政治の背景と影響を学習することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 江戸時代後期政治について興味・関心・疑問をもって学習できたか。	○	○	○	6
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化政期の学問・教育について考察させる。</li> <li>・化政期の芸術について考察させる。</li> </ul>	第10章 幕藩体制の動揺 4 化政文化	【知識・技能】 化政文化の特徴と経緯について学習することができたか。 【思考・判断・表現】 化政文化の背景と影響を学習することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 化政文化について興味・関心・疑問をもって学習できたか。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
							合計
							57







【知識及び技能】 数学における基本的な概念や法則などについて理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察・表現し、処理する方法を身につける。事象を数学的にとらえ、論理的に考え、よりよく問題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学的活動を通して、数学の論理や体系に関心をもち、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用する態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析、図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や法則を理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に表現・処理する技能を身につける。	関数関係に着目し、式・グラフを関連付ける力、図形の計量について論理的に考察し表現する力、代表値や変量間の関係に着目し、分析を行い問題を解決する力、確率の性質に基づいて事象の起こりやすさを判断する力、事象を数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
数と式 式の計算 【知識及び技能】 展開・因数分解の公式の理解と利用。 【思考力、判断力、表現力等】 たすきがけを利用して因数分解する。置き換えによって、式の計算を簡略化できることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 多項式の整理の仕方に関心をもち、考察する。よりよい工夫の方法を考察する。	多項式の加法・減法・乗法 指数法則 因数分解	【知識・技能】 式に関する用語を理解している。指数法則を理解している。展開・因数分解の公式が利用できる。 【思考・判断・表現】 たすきがけを利用した因数分解ができる。置き換えにより、式の計算を簡略化できることを理解できる。式の特徴に着目して変形し、公式を適用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多項式の整理の仕方に関心をもち、考察しようとしている。式変形について、よりよい工夫の方法を考察しようとしている。	○	○	○	4
数と式 実数、1次不等式 【知識及び技能】 根号を含む式の加法、減法、乗法の計算を理解する。 不等号の意味、不等式の性質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 絶対値の意味から、絶対値を含む方程式・不等式を解く。 【学びに向かう力、人間性等】 不等式の解の意味について、考察する。具体的な事象に1次不等式が活用できることに関心をもち、考察する。	根号を含む式の計算 不等式の性質 1次不等式 絶対値を含む方程式・不等式	【知識及び技能】 根号を含む式の計算ができる。不等式の性質を理解し、1次不等式を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 絶対値を含む方程式・不等式を解くことができる。事象を1次不等式の問題に帰着させ、問題解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 不等式の解の意味について考察し、具体的な事象に1次不等式が活用できることに関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	4
2次方程式 【知識及び技能】 2次方程式の解法として、因数分解、解の公式を理解する。判別式の符号と実数解の個数の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を判別式の符号から考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 具体的な事象に2次不等式が活用できることに関心をもち、考察する。	2次方程式 2次関数のグラフとx軸の位置関係	【知識及び技能】 2次方程式の解法として、因数分解、解の公式を理解している。判別式の符号と実数解の個数の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を判別式の符号から考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 具体的な事象に2次不等式が活用できることに関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	3
1 学期 定期考査			○	○	○	1
データの分析 【知識及び技能】 度数分布表、ヒストグラム、代表値について理解する。範囲や四分位範囲の定義や意味について理解する。分散、標準偏差について理解し、公式を用いて値を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 データの散らばりの度合いを数値化すること、代表値として適切な値について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 統計における代表値の意味について考察する。データの散らばりの度合いをどのように数値化するか考察する。	データの整理 代表値 データの散らばりと四分位数 分散、標準偏差	【知識及び技能】 度数分布表、ヒストグラム、代表値について理解している。範囲や四分位範囲の定義や意味について理解している。分散、標準偏差について理解し、公式を用いて値を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 データの散らばりの度合いを数値化すること、代表値として適切な値について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 統計における代表値の意味について考察している。データの散らばりの度合いをどのように数値化するか考察しようとしている。	○	○	○	5
場合の数 【知識及び技能】 順列、組合せの総数を計算する方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な場合の数を見通しをもって計算する。 【学びに向かう力、人間性等】 順列、組合せの総数を計算する方法に興味をもつ。	集合の要素の個数 場合の数	【知識及び技能】 順列、組合せの総数を計算する方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な場合の数を見通しをもって計算している。 【学びに向かう力、人間性等】 順列、組合せの総数を計算する方法に興味をもっている。	○	○	○	3
確率 【知識及び技能】 確率の基本的性質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 確率の考え方を様々な問題の解決に活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 確率の考え方の有用性に関心をもち、考察する。	事象と確率 確率の基本的性質	【知識及び技能】 確率の基本的性質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 確率の考え方を様々な問題の解決に活用している。 【学びに向かう力、人間性等】 確率の考え方の有用性に関心をもち、考察しようとしている。	○	○	○	3
定期考査			○	○	○	1



高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科：理科 科目：物理基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：曾根 均）（2組：曾根 均）（3組：曾根 均）（4組：曾根 均）（5組：曾根 均）（6組：曾根 均）

使用教科書：（実教出版 高校物理基礎）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】原理・法則の数式を利用し、現象を考える力を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】実験などを通して、原理・法則を理解する。

【学びに向かう力、人間性等】身近な事物・現象には基本的な概念や原理・法則があることに気が付く。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物体の運動とさまざまなエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けるとともに、観察、実験技能の基礎を身に付けている。	物体の運動とさまざまなエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動とさまざまなエネルギーについて関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1章 物体の運動 1節 運動の表し方 【知識及び技能】 変位、速度などの運動の表し方を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 速度を実験器具を使って測定し、量的な関係を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験を通じて、体感を伴って速度を理解させる。	・指導事項 速さとその表し方 等速直線運動 速さと速度・変位 速度の合成と相対速度 ・教材 教科書、ワークシート、PC	【知識・技能】 ・物体の速度を求めることができる。 ・合成速度や相対速度を求められる。 【思考・判断・表現】 ・速度を実験器具を使って測定できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実験を通じて、速度を調べようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
	1章 物体の運動 1節 運動の表し方 【知識及び技能】 等加速度運動の「時間と変位」「時間と速度」の関係を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 運動の基礎となる量を理解し、運動を物理学的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験を通じて、体感を伴って加速度運動を理解させる。	・指導事項 加速度 等加速度直線運動 自由落下運動 ・教材 教科書、ワークシート、PC	【知識・技能】 ・等加速度運動の式を用いて、時間・変位・速度をそれぞれ求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・加速度を実験器具を使って測定し、運動の量的な関係をとらえることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実験を通じて、物体の加速度を調べようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	1章 物体の運動 2節 力と運動の法則 【知識及び技能】 力と加速度の関係を理解し、運動の法則を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 運動の法則に基づき、様々な運動を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験を通じて、体感を伴って力を理解させる。	・指導事項 力 力のつりあい 作用反作用 慣性の法則 運動の法則と運動方程式 ・教材 教科書、ワークシート、PC	【知識・技能】 ・釣合いと作用反作用の力を判別できる。 ・実験結果から運動方程式を導ける。 【思考・判断・表現】 ・運動の法則に基づき、さまざまな運動の規則性を見つけることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・力がつりあう条件や、力と加速度、質量と加速度の関係を調べようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	2章 エネルギー 1節 運動とエネルギー 【知識及び技能】 エネルギーと仕事の基礎概念を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 エネルギーという捉え方で、物体の運動や現象を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験を通じて、体感を伴ってエネルギーを理解させる。	・指導事項 仕事 仕事の性質と仕事率 運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギー保存則 ・教材 教科書、ワークシート、PC	【知識・技能】 ・仕事やエネルギーを理解し、物理現象をエネルギーの観点から求められる。 【思考・判断・表現】 ・運動についての事象に共通するエネルギーというとらえ方を理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実験を通じて、力学的エネルギーなどの新たな量的関係を類推しようとする。	○	○	○	5
	2章 エネルギー 2節 熱とエネルギー 【知識及び技能】 巨視的に見た熱の正体、微視的に見た熱の正体を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 熱現象について、仕事・熱・エネルギーの関係を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験を通じて、体感を伴って熱を理解させる。	・指導事項 熱と温度 温度変化に必要な熱量 熱の移動と比熱の測定 熱と仕事 ・教材 教科書、ワークシート、PC	【知識・技能】 ・エネルギーの保存と、熱と仕事の変換、熱的現象の不可逆性などを理解できる。 【思考・判断・表現】 ・熱現象について、仕事・熱・エネルギーの関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実験を通じて、熱量の保存を調べようとしている。	○	○	○	5
定期考査			○	○	○	1	

3 学 期	3章 波 1節 波の性質 2節 音と振動 <b>【知識及び技能】</b> 波が、媒質の振動が伝わる現象であることを理解させる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 様々な波動現象を、重ねあわせの原理を用いて考察させる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 実験を通じて、体感を伴って波を理解させる。	・指導事項 波の性質 横波と縦波 重ねあわせの原理と定在波 音の伝わり方 弦の振動と気柱の振動 ・教材 教科書、ワークシート、PC	<b>【知識・技能】</b> ・波動現象を物理量で表現できる。 ・共鳴共振を波動現象として説明できる。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・重ねあわせの原理を用いて説明がつくさまざまな現象を、区別して理解できる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・様々な波の現象について、振動が伝わる量的な関係を理解しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
							合計 59

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 化学

教科：理科 科目：化学 単位数：2 単位  
 対象学年組：第 2 学年 選択  
 教科担当者：古館  
 使用教科書：（東京書籍 新編化学）  
 教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】定期テストにおいて各単元の知識、理解度を点数で評価する。
- 【思考力、判断力、表現力等】実験において各単元への思考力、判断力を総合的に判断する。
- 【学びに向かう力、人間性等】教室での座学において、各発言、積極性、ノート・プリントの正しい活用方法で判断する。

科目 化学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
定期テストにおいて各単元の知識、理解度を点数で評価する。	実験において各単元への思考力、判断力を総合的に判断する。	教室での座学において、各発言、積極性、ノート・プリントの正しい活用方法で判断する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	○物質の状態を理解できる	・物質の三態 ・気体、液体間の状態変化	【知識・技能】 考查				24
	○気体の性質を理解できる	・気体 ・気体の状態方程式	【思考・判断・表現】 実験態度、実験考察				
○溶液の性質を理解できる	・溶解 ・希薄溶液の性質 ・コロイド	【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、発言、ノート、ワークシート	○	○	○		
	定期考查			○	○		1
2 学期	○化学結合と固体の構造を理解できる	・結合の種類と熱 ・金属結晶の構造 ・イオン結晶の構造	【知識・技能】 考查				34
	○化学反応と熱・光を理解できる	・反応熱と熱化学方程式 ・ヘスの法則 ・光とエネルギー	【思考・判断・表現】 実験態度、実験考察				
○電池と電気分解を理解できる	・電池 ・電気分解	【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、発言、ノート、ワークシート	○	○	○		
	定期考查			○	○		1
3 学期	○化学反応の速さを理解できる	・反応の速さ ・反応速度を変える条件	【知識・技能】 考查				14
	○化学平衡を理解できる	・可逆反応と化学平衡 ・平衡の移動	【思考・判断・表現】 実験態度、実験考察	○	○	○	
○水溶液中の化学平衡を理解できる	・電離平衡 ・塩と化学平衡	【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、発言、ノート、ワークシート					
				○	○		1
							合計
							75

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目

教科：保健体育 科目：0

単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1 組：佐藤）（2 組：加藤）（3 組：佐藤）（4 組：加藤）（5 組：菅井）（6 組：菅井）

使用教科書：（ ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他社に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に楽しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 0 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につける。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元健康の考え方と成り立ち 【知識及び技能】単元について理解を深め生活に実践できる知識を深める。【思考力、判断力、表現力等】単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】この単元で学んだことを生かし自他の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テスト・定期考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	1
	B 単元私たちの健康のすがた 【知識及び技能】単元について理解を深め生活に実践できる知識を深める。【思考力、判断力、表現力等】単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】この単元で学んだことを生かし自他の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テスト・定期考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	1
	小テスト			○	○		1
	C 単元生活習慣病の予防と回復 【知識及び技能】単元について理解を深め生活に実践できる知識を深める。【思考力、判断力、表現力等】単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】この単元で学んだことを生かし自他の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テスト・定期考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	2
	D 単元がんの原因と予防 【知識及び技能】単元について理解を深め生活に実践できる知識を深める。【思考力、判断力、表現力等】単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】この単元で学んだことを生かし自他の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テスト・定期考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	1
定期考査			○	○		1	
2 学期	E 単元がんの治療と回復 【知識及び技能】単元について理解を深め生活に実践できる知識を深める。【思考力、判断力、表現力等】単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】この単元で学んだことを生かし自他の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テスト・定期考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	1
	F 単元運動と健康 【知識及び技能】単元について理解を深め生活に実践できる知識を深める。【思考力、判断力、表現力等】単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】この単元で学んだことを生かし自他の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テスト・定期考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
3 学期	G 単元食事と健康 【知識及び技能】単元について理解を深め生活に実践できる知識を深める。【思考力、判断力、表現力等】単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】この単元で学んだことを生かし自他の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テスト・定期考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	1
	H 単元休養・睡眠と健康 【知識及び技能】単元について理解を深め生活に実践できる知識を深める。【思考力、判断力、表現力等】単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】この単元で学んだことを生かし自他の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テスト・定期考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	1
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科：芸術 科目：音楽Ⅱ 単位数： 単位 2  
 対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組  
 教科担当者：（ 1～6 組： 福島優子 ）  
 使用教科書：（ MOUSA 2 ）

教科 芸術 の目標：  
 【知識及び技能】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽を理解し生かす  
 【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することを意識する  
 【学びに向かう力、人間性等】主体的に幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育み生かす

科目 音楽Ⅱ	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解し表現し生かす	音色・リズム・速度・教材・形成を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように歌うかについて表現意図を持ち表現する	曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み音楽を愛好する心情を育て生かす

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創					
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・強弱を知覚する。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱の学習活に取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○		○	曲に相応しい発声、言葉の発音、体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身につける。 学習記録とワークシート	○	○	○	6
	A 単元 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・強弱を知覚する。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱の学習活に取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○		○	曲について調べたり意見を交換したりして曲想と音楽の構造や歌詞をイメージをもって試行錯誤しながら表現を工夫する。 学習記録とワークシート	○	○	○	6
	A 単元 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・強弱を知覚する。 【学びに向かう力、人間性等】 指揮者になってみる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きに注目しながら鑑賞し、指揮者になる。 歌のテスト 学習記録とワークシート	○	○	○	8
	A 単元 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞。 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・強弱を知覚する。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱の学習活に取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	1学期の総括で個別実技テストを行う	○	○	○	2
2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 曲想とギターの関わり 【思考力、判断力、表現力等】 曲に相応しい奏法、体の使い方 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ギター ・ドラムスティック	○	○		曲に相応しい奏法、体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身につける。 学習記録とワークシート ギター練習記録	○	○	○	6
	A 単元 【知識及び技能】 曲想とギターの関わり 【思考力、判断力、表現力等】 曲に相応しい奏法、体の使い方 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ギター ・ドラムスティック	○	○		曲に相応しい奏法、体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身につける。 学習記録とワークシート ギター練習記録とギターテスト	○	○	○	6
3 学 期	A 単元 【知識及び技能】 曲想音楽の構造や歌詞との関わり 【思考力、判断力、表現力等】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ドラムスティック	○	○	○	物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解し、曲に相応しい表現を工夫して歌う。 学習記録とワークシート	○	○	○	8
	A 単元 【知識及び技能】 曲想音楽の構造や歌詞との関わり 【思考力、判断力、表現力等】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ドラムスティック	○	○	○	物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解し、曲に相応しい表現を工夫して歌う。 学習記録とワークシート 歌のテスト	○	○	○	2





高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅡ 単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：（1～6組：川崎、小林、藤本）

使用教科書：（All Aboard! English Communication II（東京書籍））

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、適切に表現することができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的にコミュニケーションをとうろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
●言語材料と言語活動を効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につける。	●コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する能力を身につける。	●授業等において言語活動を通して実際にコミュニケーションを図るだけでなく、それを通して自分に足りない力や、学習方法などを自ら考え、授業での言語活動を充実させるための努力を続ける姿勢を身につける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ 「 や 」 ）	話 （ 「 発 」 ）					
Lesson 1 ●関係代名詞whatを用いた文の形・意味を理解させる。【知識及び技能】 ●海外の観光地について学んだり、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことを話し合わせる。【思考力、判断力、表現力等】 ●本文や、海外で行ってみたい場所についてのスピーチや対話の概要を捉えようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	●A Colorful Island ●関係代名詞what ●タブレットを用いて動画や画像を取り入れた指導 ●Forms等を用いた確認テストの実施	○	○	○	○	●本文について理解している。 ●Target Grammarについて理解している。 ●Target Grammarを用いた文章を作成することができる。 ●授業を通して、自らの考えや意見を適切に伝えることができる。	○	○	○	12
Lesson 2 ●比較表現 (more) (the most) を用いた文の形・意味を理解させる。【知識及び技能】 ●好きな音楽バンドについて自分で調べた事柄を用いて、理由などを話し合わせる。【思考力、判断力、表現力等】 ●本文や世代を超えて人気のある音楽バンドや、好きな人物について話されるスピーチや対話の概要を捉えようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	●With the Beatles ●比較表現 (more) (the most) ●タブレットを用いて動画や画像を取り入れた指導 ●Forms等を用いた確認テストの実施	○	○	○	○	●本文について理解している。 ●Target Grammarについて理解している。 ●Target Grammarを用いた文章を作成することができる。 ●授業を通して、自らの考えや意見を適切に伝えることができる。	○	○	○	12
定期考査	●Lesson 1 - Lesson 2	○			○	●授業内容を理解し、予習・復習の成果を発揮することができる。	○	○		1
Lesson 3 ●itを用いた文 (It is ... (for ~) to ~) (It is ... that ~) の形・意味を理解させる。【知識及び技能】 ●身近な行事について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話し合わせる。【思考力、判断力、表現力等】 ●ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についての概要を捉えようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	●Wild Men ●itを用いた文 (It is ... (for ~) to ~) (It is ... that ~) ●タブレットを用いて動画や画像を取り入れた指導 ●Forms等を用いた確認テストの実施	○	○	○	○	●本文について理解している。 ●Target Grammarについて理解している。 ●Target Grammarを用いた文章を作成することができる。 ●授業を通して、自らの考えや意見を適切に伝えることができる。	○	○	○	12
Lesson 4 ●間接疑問文の形・意味を理解させる。【知識及び技能】 ●ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学んで物語の結末を想像したり、考えを話し合わせる。【思考力、判断力、表現力等】 ●ハチドリを紹介する記事とハチドリを主人公にした物語の概要を捉えようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	●Little Hero ●間接疑問文 ●タブレットを用いて動画や画像を取り入れた指導 ●Forms等を用いた確認テストの実施	○	○	○	○	●本文について理解している。 ●Target Grammarについて理解している。 ●Target Grammarを用いた文章を作成することができる。 ●授業を通して、自らの考えや意見を適切に伝えることができる。	○	○	○	12
定期考査	●Lesson 3 - Lesson 4	○			○	●授業内容を理解し、予習・復習の成果を発揮することができる。	○	○		1



高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科：家庭 科目：家庭基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：（1組：内山、檜山）（2組：内山、檜山）（3組：内山、檜山）（4組：内山、檜山）（5組：内山、檜山）（6組：内山、檜山）

使用教科書：（《実教出版》図説 家庭基礎）

教科 家庭 の目標：

- 【知識及び技能】生活の自立のための衣食住や消費生活、家族や家庭生活などの基礎的な知識・技術を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】生活の中の課題の解決策を構想し、実践を評価・改善するなどして課題を解決する力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、社会との関わりについて理解を深め、生活を営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費などについて理解し、基本的な技能を身につける。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践する態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元：＜自分らしい生き方と家族＞ 【知識及び技能】 各ライフステージの発達課題、家族や家庭生活に関する基本的知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 家族や家庭生活について、自分の現在・将来と結びつけながら考え、課題の解決に向けて思考・判断し、表現することができる。 学んだ知識から生活に結びつけて思考することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 家族や家庭生活について、関心を持って知ろうとする態度があり、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出すことができる。	オリエンテーション 第1章 自分らしい生き方と家族 1. 生涯発達する人生、青年期を生きる 2. 男女共同参画社会をめざして 3. 現代の家族、社会環境の変化や課題 4. 家族に関する法律  教材：プリント、資料集	【知識・技能】 ・各ライフステージの発達課題を理解している。 ・家族や家庭生活に関する基本的知識を理解している。 【提出物、定期考査】 【思考・判断・表現】 ・家族や家庭生活の課題について、その解決策を思考し、自分の意見を論理的に述べることができる。 ・学んだ知識から生活に結びつけて適切に思考することができる。 【提出物、定期考査】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家族や家庭生活について、関心を持って意欲的に授業に参加している。課題の解決に向けて解決策を見出そうとし、意見を表現することができる。 ・提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 (授業への取り組み、提出物)	○	○	○	12
	単元：＜子どもとかがわる＞ 【知識及び技能】 子どもの成長に関する基本的知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの発達や子どもとの関わりについて、自分の現在・将来と結びつけながら考え、課題の解決に向けて思考・判断し、表現することができる。 学んだ知識から生活に結びつけて思考することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの発達や子どもとの関わりについて、関心を持って知ろうとする態度があり、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出すことができる。	第2章 子どもとかがわる 1. 子どもの誕生、子どもの発達 2. 子どもの生活習慣 3. 子どもの衣生活・食生活 4. 子どもの遊び 5. 親になることを考えよう  教材：プリント、資料集	【知識・技能】 ・子どもの成長に関する基本的知識を理解している。 【提出物、定期考査】 【思考・判断・表現】 ・子どもとの関わり方、子育て環境の課題などについて考え、より良い課題の解決に向けて思考・判断し、表現することができる。 ・学んだ知識から生活に結びつけて思考することができる。 【提出物、定期考査】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どもの発達や子どもとの関わりについて、関心を持って授業に取り組む、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出そうとしている。 ・提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 (授業への取り組み、提出物)	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	単元：＜衣生活をつくる＞ 【知識及び技能】 衣生活に関する基本的知識を理解し、ミシンを使った基本的な縫い方の技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 衣生活に関する問題点を考え、自分の行動を見直したり、改善策を見出すことができる。 学んだ知識から日常の生活に結びつけて思考することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 衣生活に関心を持って知識を学ぼうとする態度があり、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出すことができる。実習に意欲的に取り組むことができ、期限を守って提出することができる。	第6章 衣生活をつくる 1. 人と衣服のかかわり、快適な衣服 2. 衣服素材の種類と特徴、性能 3. 衣服の選択、管理 4. 実習（エコバッグ製作）  教材：プリント、資料集、エコバッグ製作教材	【知識・技能】 ・衣生活に関する基本的知識を理解している。 ・ミシンの基本的技術が身についている。 【提出物、定期考査】 【思考・判断・表現】 ・衣生活に関する問題点に気づき、自分の生活を結びつけて改善策を思考・判断し、表現することができる。 ・学んだ知識から身の回りの生活に結びつけて思考することができる。 【提出物、定期考査】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・衣生活について、関心を持って知ろうとする態度があり、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出そうとしている。 ・実習に意欲的に取り組み、期限を守って作品を提出している。 ・その他提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 (授業への取り組み、提出物)	○	○	○	12

2 学 期	<p>単元：＜食生活をつくる＞</p> <p>【知識及び技能】 食生活に関する基本的知識や技術を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 食生活に関する課題を見出し、自分の行動を見直したり、社会の改善策を考え、自分の意見を表現することができる。</p> <p>学んだ知識から日常生活に結びつけて思考することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 食生活に関心を持って知識を学ぼうとする態度があり、授業に意欲的に取り組むことができる。</p>	<p>第5章 食生活をつくる</p> <p>1. 食生活と健康</p> <p>2. 五大栄養素</p> <p>3. 食品の選択と表示、食品の衛生</p> <p>4. 食事摂取基準、食品群別摂取量のめやす</p> <p>5. 調理の基本</p> <p>教材：プリント、資料集</p>	<p>【知識・技能】 ・食生活に関する基本的知識を理解し、基本的技術を身につけている。 (提出物、定期考査)</p> <p>【思考・判断・表現】 ・食生活に関する課題を見出し、自分の行動を見直したり、社会の改善策を思考・判断し、表現することができる。 ・学んだ知識から身の回りの食生活に結びつけて思考することができる。 (提出物、定期考査)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・食生活について、関心を持って知ろうとする態度があり、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出そうとしている。 ・提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 (授業への取り組み、提出物)</p>	○	○	○	10
	<p>単元：＜高齢者とかかわる＞</p> <p>【知識及び技能】 高齢社会の現状や高齢者の生活について基本的知識を習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 高齢社会の課題を見出し、改善策について考えたり、自身や家族のことと結びつけて考え、自分の意見を表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 高齢社会に関心を持って知識を学ぼうとする態度があり、授業に意欲的に取り組むことができる。</p>	<p>第3章 高齢者とかかわる</p> <p>1. 高齢社会に生きる</p> <p>2. 高齢者を知る、介護の心</p> <p>教材：資料集</p>	<p>【知識・技能】 ・高齢者や高齢社会に関する基本的知識を理解している。 (提出物、定期考査)</p> <p>【思考・判断・表現】 ・高齢社会に関する課題を見出し、社会の改善策を思考・判断し、自分の意見を表現することができる。 ・学んだ知識から身の回りの食生活に結びつけて思考することができる。 (提出物、定期考査)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・高齢社会について、関心を持って知ろうとする態度があり、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出そうとしている。 ・提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 (授業への取り組み、提出物)</p>	○	○	○	2
	<p>単元：＜社会とかかわる＞</p> <p>【知識及び技能】 社会福祉や社会保障制度について基本的知識を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 学んだ知識から日常生活に結びつけて思考、判断することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会福祉に関心を持って知識を学ぼうとする態度があり、授業に意欲的に取り組むことができる。</p>	<p>第4章 社会とかかわる</p> <p>1. 共に生きるために</p> <p>2. 社会保障制度</p> <p>教材：資料集</p>	<p>【知識・技能】 ・社会福祉や社会保障制度高齢者や高齢社会に関する基本的知識を理解している。 (提出物、定期考査)</p> <p>【思考・判断・表現】 ・ともに生きるために必要なことは何か、自分にできることは何かを考え、導き出すことができる。 ・学んだ知識から身の回りの生活に結びつけて思考、判断、行動することができる。 (提出物、定期考査)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・社会とかかわることについて、関心を持って学ぼうとする態度があり、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出そうとしている。 ・提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 (授業への取り組み、提出物)</p>	○	○	○	2
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>単元：＜住生活をつくる＞</p> <p>【知識及び技能】 住生活に関する基本的知識を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 学んだ知識から日常生活に結びつけて思考することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 住生活に関心を持って知識を学ぼうとする態度があり、授業に意欲的に取り組み、期限を守って提出物を提出することができる。</p>	<p>第7章 住生活をつくる</p> <p>1. 住空間（平面計画）</p> <p>2. 健康に配慮した住まい</p> <p>3. 安全な住まい</p> <p>教材：プリント、資料集</p>	<p>【知識・技能】 ・住生活に関する基本的知識を理解している。 (提出物、定期考査)</p> <p>【思考・判断・表現】 ・住生活について学んだ知識から身の回りの生活に結びつけて思考することができる。 (提出物、定期考査)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・住生活について、関心を持って学ぼうとする態度があり、課題に意欲的に取り組むことができる。 ・提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 (授業への取り組み、提出物)</p>	○	○	○	6
	<p>単元：＜経済的に自立する＞</p> <p>＜消費行動を考える＞</p> <p>【知識及び技能】 経済生活や消費生活に関する基本的知識を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 学んだ知識から日常生活に結びつけて思考・判断し、表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 経済生活や消費生活に関心を持って知識を学ぼうとする態度があり、授業に意欲的に取り組み、期限を守って提出物を提出することができる。</p>	<p>第8章 経済的に自立する</p> <p>第9章 消費行動を考える</p> <p>1. 収入・支出を把握する</p> <p>2. 長期的な経済計画</p> <p>3. 契約と主体的な行動</p> <p>4. 販売方法と問題商法</p> <p>5. 消費者を守る制度・法律</p> <p>6. 支払い方法</p> <p>7. 消費者の権利と責任</p> <p>8. 持続可能な社会の構築</p> <p>教材：プリント、資料集</p>	<p>【知識・技能】 ・経済生活、消費生活に関する基本的知識を理解している。 (提出物、定期考査)</p> <p>【思考・判断・表現】 ・学んだ知識から日常生活に結びつけて思考し、適切な判断をすることができる。 (提出物、定期考査)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・経済生活、消費生活について、関心を持って学ぼうとする態度があり、課題に意欲的に取り組むことができる。 ・提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 (授業への取り組み、提出物)</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
						合計	
						70	



高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 総合 科目 総合的な探究の時間

教科: 総合 科目: 総合的な探究の時間 単位数: 1 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 6 組

教科担当者: (1組: 高橋・品田) (2組: 加藤・曾根) (3組: 山田・相本) (4組: 宮川・乗附) (5組: 菅井・内山) (6組: 川崎・藤井)

使用教科書: (「人間と社会」)

教科 総合 の目標:

【知識及び技能】人と社会のかかりについて理解と知識を得て、将来の生き方に役立てる。

【思考力、判断力、表現力等】他者と意見を交わし協働する姿勢を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】自ら学ぶ方法や態度を身に付ける。

科目 総合的な探究の時間 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人と社会のかかりについて理解と知識を得て、将来の生き方に役立てる。	他者と意見を交わし協働する姿勢を身に付ける。	自ら学ぶ方法や態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 自己の進路について考える	・入試形態・入試科目について調べる。 ・進路ガイダンス(大学説明会)	【知識・技能】 SDGsや自己の進路に対して、知識として理解したか。 【思考・判断・表現】 SDGsや自己の進路に対して、きちんと考え、文章でまとめて発表したか。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	2
	B 自己の進路について考える	・上級学校訪問。 ・次年度選択科目について考える。(選択科目説明会)	積極的に授業に参加し、理解しようとしているか。 【方法】 70%・・・出席状況 30%・・・①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参加等、授業中の態度	○	○	○	3
	C 修学旅行事前学習	・11月上旬の修学旅行について、行き先(沖縄)と見学場所を知る。	【知識・技能】 SDGsや自己の進路に対して、知識として理解したか。 【思考・判断・表現】 SDGsや自己の進路に対して、きちんと考え、文章でまとめて発表したか。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	4
	D 修学旅行事前学習	・修学旅行の事前学習として、自身が探究したいテーマを選び、グループを作って調べ、文章や図表でまとめる。	積極的に授業に参加し、理解しようとしているか。 【方法】 70%・・・出席状況 30%・・・①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参加等、授業中の態度	○	○	○	3
2 学期	C 自己の進路について考える	・個人面談を通して、次年度の選択科目を確定する。(選択科目本調査)	【知識・技能】 SDGsや自己の進路に対して、知識として理解したか。 【思考・判断・表現】 SDGsや自己の進路に対して、きちんと考え、文章でまとめて発表したか。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	3
	D 修学旅行事前学習	・グループで調べた内容をまとめる。 ・グループで調べた内容を発表する。	積極的に授業に参加し、理解しようとしているか。 【方法】 70%・・・出席状況 30%・・・①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参加等、授業中の態度	○	○	○	4
	E SDGsについて考える	・SDGsについて、17の目標を知る。 ・17の目標の中から、自身が探究したいテーマを選び、グループを作って調べる。	【知識・技能】 SDGsや自己の進路に対して、知識として理解したか。 【思考・判断・表現】 SDGsや自己の進路に対して、きちんと考え、文章でまとめて発表したか。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	4
	F 修学旅行事前学習	・体験学習の班分けをする。 ・沖縄に関する映画鑑賞。	積極的に授業に参加し、理解しようとしているか。 【方法】 70%・・・出席状況 30%・・・①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参加等、授業中の態度	○	○	○	3
	G 修学旅行	・修学旅行に行き、現地の自然や文化を体験する。 ・修学旅行後に振り返りをする。	【知識・技能】 SDGsや自己の進路に対して、知識として理解したか。 【思考・判断・表現】 SDGsや自己の進路に対して、きちんと考え、文章でまとめて発表したか。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	4
3 学期	H SDGsについて考える	・グループで調べた内容をまとめる。	積極的に授業に参加し、理解しようとしているか。 【方法】 70%・・・出席状況 30%・・・①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参加等、授業中の態度	○	○	○	3
	I SDGsについて考える	・グループで調べた内容を発表する。	【知識・技能】 SDGsや自己の進路に対して、知識として理解したか。 【思考・判断・表現】 SDGsや自己の進路に対して、きちんと考え、文章でまとめて発表したか。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	4
	J 自己の進路について考える	・志望校、入試形態を決定させ、次年度に向けて準備を進める。 ・小論文模試に挑戦する。 ・返却された小論文模試の添削を確認し、リトライする。	積極的に授業に参加し、理解しようとしているか。 【方法】 70%・・・出席状況 30%・・・①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参加等、授業中の態度	○	○	○	5
K 自己の進路について考える	・進路ガイダンス(分野別模擬授業、キャリア教育講演会) ・卒業生講話	【知識・技能】 SDGsや自己の進路に対して、知識として理解したか。 【思考・判断・表現】 SDGsや自己の進路に対して、きちんと考え、文章でまとめて発表したか。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	4	
				○	○	○	5
				合計			35

